

しらさぎ・無所属クラブ

平塚市下水道管の老朽化と
道路陥没について

はた 文昭 議員



問 市内の下水道管の総延長と、県あるいは本市が管理する口径2千ミリメートル以上の下水道管の総延長は、それぞれどのくらいあるのか伺う。

土木部長 市内下水道管の総延長は約1235キロメートルあり、口径2千ミリメートル以上の総延長は約12・5キロメートルある。内訳は県が約7・3キ

ロメートル、本市が約5・2キロメートルである。

問 市内道路の過去5年間の空洞や陥没件数を伺う。

土木部長 令和2年度以降は、空洞の発見が42件、陥没が117件あった。

問 長寿命化や耐震化に向けた点検などを伺う。

土木部長 長寿命化に向けて、マンホール内に専用のカメラを挿入し、管内の状

託して調査している。

中央公民館の休館

問 利用団体への説明会の内容を伺う。

社会教育部長 説明会では休館の経緯や代替施設などの説明と質疑応答を行う。説明会後も個別相談を受けするなど、丁寧に対応していく。

問 休館期間中の代替施設について伺う。

社会教育部長 会議室などの利用団体については、団体登録要件を緩和した地区公民館を、大ホールについては、市内外の類似施設を利用してもらいたいと考えている。令和10年度以降に

については、7年度から庁内組織を立ち上げ、必要な機能やコストのほか、施設の規模や場所などの課題を整理し、検討を進めていく。

民生委員・児童委員

問 民生委員・児童委員の定数や選任方法、任期などを伺う。

福祉部長 定数は県の民生委員定数条例で定めており、本市の定数は408人、2月1日現在の選任者数は396人である。選任の際は、地域から選出された候補者を平塚市民生委員推薦会から県をとおして国に推薦し、厚生労働大臣が委嘱する。任期は3年で、

しらさぎ・無所属クラブ
所属議員



渡部 りょう 議員 元島 しん 議員

日本共産党平塚市議会議員団

令和7年度は事業者・市民に
あったかい施策最優先で

高山 和義 議員



7年度施政方針から

問 市内事業者の賃金は上がっているのか伺う。

産業振興部長 本市は補助制度で事業者を応援しているが、実態を表しているのかという少し違うと思う。

問 定額減税がなくなったことで、令和7年度は個人市民税が伸びているが、本市の6年度の定額減税の影響はどの程度だったのか伺う。

総務部長 定額減税減収分は約11億3千万円である。

子どもを育む
環境づくり

問 ネット上など目に見えないいじめが増えていると考えるが、見解を伺う。

学校教育部長 ウェブ上でのいじめは増えている。

問 いじめの把握や解決には、複数の目で子どもたちを見るのが大切である。サン・サンスタッフの複数配置について見解を伺う。

学校教育部長 各学校で必要な場所・場面などを見極めて重点配置している。

活気あふれる
産業づくり

問 正規雇用を増やすための本市の対策を伺う。

産業振興部長 新たにウェブ求人サポートセミナーを開催し、そこに28社の応募

があった。

問 賃上げ応援奨励金の目標を伺う。

産業振興部長 賃上げ機運を高めることである。

高齢者の想いに
寄り添う環境づくり

問 地域交通手段確保の現状と今後の対策を伺う。

福祉部長 岡崎地区で実施したアンケート調査から、地域の移動ニーズを把握し、持続可能な交通の検討をしている。今後はこの取り組みを先行事例として示しながら地域交通手段の確保に取り組んでいきたい。

問 補聴器購入の補助制度導入の検討状況を伺う。

福祉部長 県の市長会を通じて全国統一的な支援基準の策定を国に要望するとともに、他の自治体などの実

定である。

文化公園会館の設置
及び管理等について

問 可動式の間仕切りの防音対策について伺う。

学校教育部長 運用開始後に検討していきたい。

問 教育や子育ての団体は減免対象となるのか伺う。

産業振興部長 細かい内容は施行規則で決めるため、時期を見て示したい。

問 そのほかの質問 公共下水道管緊急点検 龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

会議録は5月中旬に公開

3月定例会の会議録は5月中旬から公開します。市議会ホームページなどでもご覧になれます。

日本共産党平塚市議会議員団
所属議員



松本 敏子 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案12案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 一般管理費の平和意識普及・啓発事業について、今年は戦後80年と、核兵器廃絶平和都市宣言から40年という節目になるため、1年を通して平和行事を行うとあるが、予定している行事を伺う。

答 7月の平塚空襲の頃に、命のビザを発給した杉原千畝氏の孫で

ある杉原まどか氏の講演会、8月頃に平和パネル17枚と複製画13枚を展示するいわさきちひろ氏の平和パネル展、12月の核兵器廃絶平和都市宣言の頃は、高校生が描いた原爆の絵のパネル展示を開催する予定である。また、広報ひらつかでも特集を組むなどして、1年を通じてさまざまな周年事業を行っていききたいと考えている。

問 防災対策費の防災訓練強化事業について、有事が起きるのは昼間だけとは限らず、夜間や寒い中、暑い中などさまざまである。

行政は、各自主防災組織にいろいろな状況を想定した各種防災訓練を行うよう伝えるべきだと思うが、見解を伺う。

答 夜間など、さまざまな状況が想定されるため、訓練の相談の際には伝える場合もある。以前、夜間のパトロールに絡めて、実際に夜間の地震体験などを行ったことがある。

問 農業振興費の新規就農者育成事業について、新規就農者がかなり減っており、手を挙げる人も少ないと思う。本市は大切な米どこ

ろであるため、ぜひ多くの人に担い手になってもらいたい。また、新規就農者支援してもらいたいが、これまでと同じ方法なのか、新しい策を広げていくのか伺う。

答 ワンストップ相談窓口では、新規就農者の相談件数も少しずつ増えている。その中で、ロードマップの作成や、新規就農者が自らヒアリングを行いながら活用した補助制度や支援制度をメモしてもらうガイドブックを令和7年度から作成し、支援につなげたいと考えている。